

「医療ビザに係る身元保証機関」を通して受診申込をする流れです。不明な点下記までご連絡ください。

## お申込み（受入可否判断/代理セカンドオピニオン）※オンラインは実施していません。

### 【提出書類】

01. □ 患者さんの身分証明書（カルテ作成用）
02. □ 患者さんの診療情報提供書（和訳）・・・病歴、手術報告書、検査結果、病理結果、主治医見解  
化学療法中、後の場合（開始日～終了日、薬剤等）  
放射線治療済の場合、線量分布図（あれば）。
03. □ 画像データ（DICOM 形式のみ）・・・・手術実施の際は、手術前後。病気発見時、治療途中、直近等経過が分かるものが望ましい。

※取込終了後にスケジュール調整します。

04. □ 画像リスト（撮影日、撮影医療機関名、撮影部位、画像種類）CD 内の画像確認のため必要です。
05. □ 患者さんからの質問リスト・・・報告書作成まで含めて原則 1 人 1 時間以内のため、10 問（以内）程度。  
書面でのセカンドオピニオンにも対応しますが、当院作成の報告書への質問はご遠慮ください。  
患者さんによく話し合っ、質問リストを作成いただき、患者さんの代理人として生活状況、症状等、現地主治医の見解、患者さんのご意向等よく聞き取ってから来院ください。
06. □ 相談同意書（初診受付で提出）<https://www.hosp.tsukuba.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/douisyo.pdf>



## 受入可否判断/代理セカンドオピニオン<当日>：身元保証機関担当者が来院→報告書をお渡しします

※患者さん自身やご家族が来院希望の場合は、診療科の許可が必要です。

予約時間の30分前までに初診窓口1番にお越しください。

①番号札→ 診療申込書（緑色）記載 → 番号で呼ばれます。

来院者の身分証明書、患者の身分証明書、相談同意書を提示します。再度待ちます。

②診療券発行し、院内マップをお渡しします。受診診療科にご移動ください。

③診療科窓口に診療券提出→番号で案内します。

④面談時、医師に「報告書が必要」旨伝えてください。

⑤当日支払いはありません。

➔ 受入可否判断の結果、受入可能となった場合も、患者さんに再度来院意思を確認してください。

また、来日後、患者さんの病状他により治療できない場合もあります。

**44,000 円（月末締めで請求書発行）**

受入可否判断後、患者さんの希望を再確認し、メールにて受診申し込みください。

### 来日受入準備

01.  医療ビザ手配（他ビザの場合は申告）・・・身元保証書、治療予定表、同行者リスト  
概算提示（必要な場合はご連絡ください）  
※身元保証書の押印は、貴社押印後  
※治療予定表には押印しません。その他必要事項はご連絡ください。
02.  同行者氏名　・・・同行予定者が決まったら、氏名と患者さんとの関係も教えてください。



### 来日前【提示いただく情報、他】

01.  ビザ手配状況 & フライト情報（具体的な治療予約調整を行います）  
※画像検査、採血、初診、計画 CT、照射開始スケジュールに  
決まり次第ご連絡します（放射線腫瘍科の場合）。
02.  ビザページコピー、パスポートコピー（同行者分も）
03.  当院治療中の滞在先住所



### 来日後【提示いただく情報、他】

01.  上陸許可頁　（患者さん、同行者分）
02.  健康観察票　（患者さん、同行者分）
03.  業務提携契約書締結機関以外の場合、三者間契約書を交わします。書類をお送りします。



### 治療中【提示いただく情報、他】

01.  通訳者氏名　（翌週の通訳者予定を共有ください）
02.  治療費支払い（1点30円＋税、その他当院諸料金規定に則り請求します）月末締めで請求書送付。  
納入期限までにお支払い下さい。

**Others**